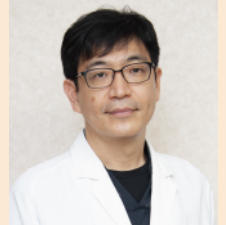


院長コラム

「お酒飲んでもいいですか？」

20世紀の最後、まあ20年ぐらい前ですが、僕が研修医だったころ、「そろそろ、タバコ吸ってもいいですか？」退院間近の患者さんからわりと普通に質問されました。今外来でこの質問がくることは皆無です。まったくありません。ほんの20年のような気もしますが、ずいぶん様変わりです。病棟の詰め所には端っこにカーテンで区切られたナース用の詰め所があって、ちょっと開けると紫煙に曇る天井は「太陽に吠えろ」レベルでしたし、その当時のナースキャップをつけた白衣の天使たちが、足をくんでくわえタバコをしている風景は研修医富田の幻想を打ち砕きました。

しかし、その一方で「退院も決まったし、そろそろお酒のんでもいいですか？」というのは今でもわりと普通に聞かれます。アルコールはタバコに比べて害が少ない、少量だと有益という風評のせいでしょうか。最近の疫学研究においては、残念ながら少量において有益というのは言い過ぎのようです。アルコールは発がん物質としてのデータはわりとハッキリしていて、WHOの発がん物質の表にはタバコ、ヒ素と並んで、(ヒ素！)データの質の高い発がん物質として分類されています。心筋梗塞などの血栓症に対しては、少量で有益の可能性は残りますが、発がん性の有害性で打ち消されてしまい、トータルでは害が勝るとというのが結論のようです。タバコにくらべて、有害性の種類やレベルは違いますが、そもそも「害がわりとはっきりしている嗜好物質」であるものを摂取するのに、「医師の許可を得る。」というのは何かの免罪符的なものなのかも知れませんが、もうしばらくすると、「お酒飲んでもいいですか？」と患者さんから聞かれなくなる時代になる気がします。



院長 富田 雅史

院内分娩の再開に向けて準備を進めています！



分娩の再開に向けてレディース病棟に入院中の患者様向けの食事やおやつ、お祝い膳を栄養科の職員が試作しています。赤ちゃんの誕生をお祝いし、出産後のお母さんを労うためのお祝い膳は、色々なものを少しずつ食べることができるメニュー構成となっております。産後の体を回復させる為に栄養満点な食材を管理栄養士が厳選して使用しています。お祝い膳のデザートは女性のチームが中心となって考えており、手作りのフラッグなどで工夫して見た目とても可愛く華やかに仕上がっています。お母さんが理想のお産ができるよう医師や助産師はもちろんのこと、栄養科の職員も一丸となって準備を進めています。



す。妊娠から出産、小児、思春期に関する幅広いご相談や意向を伺うことができる成育医療も再開し、地域に貢献できる病院になるため神戸徳洲会病院は進歩し続けます！

コロナ禍における家族看護のニューノーマル

ワーク ショップ

8月7日土曜日に竹田副院長と中村看護部長が主体となり「コロナ禍における家族看護のニューノーマル」というテーマでワークショップを開催しました。コロナ禍で当院も含め多くの病院が家族面会を制限する中で、コロナ禍前よりも入院患者、家族、医療者それぞれの関係が希薄になっているのが現実です。しかしこの状況はしばらく変わらないと考えられ、じゃあどうしようか？と言うことで竹田副院長が企画しました。県立尼崎総合医療センターの家族支援看護師の米田愛さんはじめ、集中治療認定看護師の石井あやみさん、兵庫県立こども病院の家族支援専門看護師の浅井桃子さんに講師及びファシリテーターをしてもらいグループワークを行いました。みんなからも明日から使えるアイデアが湧いてきました！今後も続くであろうコロナ禍の中で、神戸徳洲会病院ができることは、まだまだありそうです！



各種 SNS で情報発信中です！

フェイスブック

講習会や求人情報など



インスタグラム

病院の日常や最新情報



ツイッター

富田院長のつぶやき



zoom 医療講演

スケジュールはこちら

